

第7章 フォローアップ

(1) 計画の達成状況と評価

刈谷市水道事業ビジョンで掲げた施策を着実に推進するために、年度ごとに進捗状況を確認し、事業の成果や効果を把握することが重要です。

法改正や本事業を取り巻く様々な内外要因に対応していく中で、計画と大きな乖離が生じる可能性がある場合には、以下に示すような PDCA サイクルを実施することで主要な施策の有効性などを確認しながら、さらなる推進や見直しを進めていきます。



PDCA サイクル

(2) 進捗状況の管理

次頁に示す進捗管理表にそって、進捗状況を管理していきます。

(3) 計画の見直し

当水道事業ビジョンは、10年の施策を示したものですが、社会的及び経済的な情勢を踏まえ、必要に応じて見直しを行います。

本ビジョンで掲げた基本理念と基本目標の達成に向け、管理指標により数値目標を定め、進捗状況の検証と改善を継続的に行います。

管理指標			管理指標目標値		
			現状 (2021年)	中間 (2026年)	最終 (2031年)
安全	自己水源の保有率	%	24.8	25.0	25.0
	自己保有水源水量/全水源水量×100				
安全	深井戸の定期的な洗浄	井/年	実施 (1井実施)	実施 (1井/年以上)	実施 (1井/年以上)
	計画的な深井戸機能の維持・回復作業				
強 靱	配水池の耐震化率	%	12.7	48.5	87.9
	耐震対策の施された配水池有効容量/ 全配水池有効容量×100				
	管路の年間更新率	%	0.66 (5.3km)	0.74 (6.0km)	1.66 (13.5km)
	当該年度に更新した管路延長/ 総管路延長×100				
	重要給水施設管路の耐震管率	%	55.3	80.6	100
	重要給水施設管路のうち耐震管延長/ 重要給水施設管路総延長×100				
	市民1人あたりの飲料水貯留量	L	128	138	149
時間当りの最低総貯水量/給水人口					
持 続	総配水量に対する有収率	%	94.0	94.0	94.0
	年間有収水量/年間配水量×100				
	施設能力に対する利用率	%	75.7	80%*程度となるよう、配水量に応じた施設の能力や規模を設定	
	一日平均配水量/施設能力×100				
水道事業の市民満足度	—	3.43	4.0	4.0	
市民意識調査での「満足度」に関する平均ポイント(5点満点)					

*緊急時の対応等として、施設の予備能力を20%程度確保するため。